
開講科目名：消費税法研究 (2単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：大脇 光明

《授業の概要》

1. 授業の概要

「講義の目的」

受講生に、消費税法の学習を通して、税法等の論理的解釈の理解を深め、認定事実に関税法等を当てはめることについて、思考力等を伸ばしてもらうことを目的とする。

「講義の内容」

課題を設定し、判決・裁決の争点を参照しつつ、消費税法の条文の趣旨・解釈について理解を深めるとともに、条文適用のあり方を考える。

「授業の内容」

- | | | |
|----|--------------------|-------------|
| 1 | 消費税の基本的仕組み～課税の仕組み | |
| 2 | 〃 | 納税事務の負担軽減 |
| 3 | 課税の対象～4要件の前半 | |
| 4 | 〃 | 4要件の後半 |
| 5 | 非課税取引 | |
| 6 | 輸出免税 | |
| 7 | 納税義務者 | |
| 8 | 納税義務の成立 | |
| 9 | 課税標準 | |
| 10 | 仕入税額控除～一般課税による計算方法 | |
| 11 | 〃 | 帳簿の意義 |
| 12 | 〃 | 帳簿の保存 |
| 13 | 〃 | 簡易課税による計算方法 |
| 14 | 〃 | みなし仕入率 |
| 15 | 特定役務の提供に係る課税 | |

2. 評価方法

出席及び授業への参加姿勢・貢献度等を総合的に勘案して評価する。

《参考書》

「詳解消費税法」財経詳報社

「消費税法の考え方・読み方」税務経理協会